

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名：こども発達さぼーとセンターるぼろ（保育所等訪問支援）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備・環境	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		支援に必要な教具教材（カード・絵本・環境調整のためのグッズ・姿勢保持のためのグッズ等）を提案しながら、訪問先の先生方がそこから考えたり、実践できることを意識できるよう努めている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	専従職員が一人で対応しているため、希望する訪問日が重なってしまう問題があり、訪問日の調整に課題を感じる。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		こどもと関係している職員（併設の放課後等デイサービス・児童発達支援）と目標設定や集団での様子を振り返ったり、書面にて共有できるよう努めている。
	4	保護者・園・学校向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議の中で保護者・園・学校の意見を共有し、業務改善につなげていくよう努めている。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問支援員一人の考察だけでなく、多職種からの意見・考察、また訪問支援の在り方等も含め、話し合う機会を設け業務改善に努めている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価の審査については、引き続き検討していきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		併設の放課後等デイサービスや児童発達支援と一緒に幼児期・児童期・成人期とどんな支援が必要になってくるのか考える機会を設け、園や学校での支援に活かせるよう努めている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		目的や目標を関係機関と共有しながら、課題解決の視点だけでなく、どんなことをこどもに経験して欲しいか等現場でできる支援を大事にしながら作成している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援開始前には必ず担当者会議を開き、共通理解を持った上で、課題着目よりも、強みに視点をあてた検討を行い、支援計画に反映するよう努めている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の先生がクラスの中でできる支援を考え、実践できることを意識しながら作成している。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画に沿ったステップアップ表を作成し、振り返り際には、計画に沿った支援が行えているか確認している。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの言動からどんな関わりが必要かを考える「作業遂行表」や行動がどう変化していったか確認できる「行動変化表」を用いながら、支援の検討・確認に努めている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		集団の中でのこどものニーズを保障しながら、その子ができる方法で集団に適応していけることを意識した支援内容を考えるよう努めている。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画に沿ったステップアップ表を作成し、振り返り際には、計画に沿った支援が行えているか確認するようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	毎回その日行われる支援の内容や役割分担の確認までは行えていないが、現場の先生と目標に沿った活動場面を確認して訪問に入るようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問後、施設内の児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援の職員と共有し、意見交換を行っている。

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		園や学校の方針を把握しながら、訪問に入るようにしている。理念や方針を尊重し、その中でできる支援を考えるように努めている。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		子どもの言動を記録しながら、そこからどんな支援が考えられるか「作業遂行表」や「行動変化表」に落とし込みながら、支援の検証、改善に努めている。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		現段階のこどもの姿を確認し、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用している児童発達支援や放課後等デイサービスの担当者も会議に参加しながら、こどもの状況を聞き取っている。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		他機関との連携が必要な場合は、担当者会議を行い、現状の把握や支援目標の共有とそれぞれの機関の役割を確認しながら支援を行なえるよう努めている。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園から学校への移行時に、これまでの支援の共有や今後必要と思われる支援を共有する機会を設けている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		支援に活かせる研修に参加しながら、支援の向上に努めている。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	施設内の職員は参加しているが、保育所等訪問支援員が参加する部会がない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問の振り返りの際にこどもの状況を確認すると共に、併設の児童発達支援や放課後等デイサービスの利用時にも声をかけ、園での様子や成長等を日頃から共有できるよう努めている。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		るぼろで開催される親講座のご案内を行っている。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に重要事項説明書及び利用契約書に基づき、運営の主旨や利用者負担・職員配置・加算等の説明を行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問に先立ち、保護者を交えた担当者会議を行い、訪問支援の目的、内容等お伝えしている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用開始前の担当者会議で子どもや保護者、先生の意向を聞き取った上で支援計画を作成している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		目標を共有した後に支援計画を作成し、保護者の方に同意を得てから初回訪問に入るようにしている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育ての悩みや就学に向けての相談があれば、別途時間を設けて対応している。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	親講座で保護者会同士の交流の場を設けてはいるが、参加されている方だけの交流の場となっているため、前向きに更に広報に努めていきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		現状、訪問に対しての申入れがないため対応していない。相談・申入れの対応の体制は整備しており、今後対応が必要な場合に適切に対応していく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	訪問支援としての通信は発行していないが、児童発達支援センターの便りが毎月ある他、親講座のご案内は、メール等で発信している。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用開始前には、個人情報使用同意書を保護者に説明し同意を得ている。支援に必要な情報提供の際には、保護者の同意を得るようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭での説明だけでなく、視覚的に分かるように支援内容を資料にして説明している。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		資料を作成し振り返りの際に、訪問先からの相談、支援方法等を助言できるように努めている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○	訪問後に現場の先生と子どもの姿から必要な支援等を話しあっている。園や学校によりカンファレンスの十分な時間の確保が難しい場合は、資料を通して共有している。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後には、必ず振り返りを行い、園や学校での様子、そこから必要な支援について保護者と共有している。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分配慮した上で、支援に必要な情報は、現場の先生、保護者に確認を得てから共有するように努めている。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		問題を提起する側、支援する側、される側といった関係ではなく、子どもの想いや目標を叶えるためのチームとした関係づくりを大切にしながら、一緒に関わりを考えている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内での事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、施設全体で訓練も行っているが、保護者の方には周知できていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成して、年間を通して施設全体で各避難訓練を実施している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で、毎月リスクマネジメント会議を開催して、ヒヤリハットの内容を共有し、方策に向けての検討を行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で虐待防止委員会を設け、研修、定期的なセルフチェックを行う等、虐待防止に努めている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事業所内で身体拘束適正委員会を設け、支援計画の中に記載、説明を行っているが、保育所等訪問支援の中では、支援計画の中に記載はしていない。